

水産資源（マグロ）調査*

渡辺 勇二郎

目 的

本調査は遠洋水産研究所の委託により、近海マグロ延縄漁業の水揚げ港である勝浦港に入港するマグロ資源研究のための基礎資料を収集することを目的とする。

方 法

平成元年度水産資源（マグロ）委託調査要項（陸上）に基づき調査を行った。勝浦港に入港するマグロ延縄漁船のうち「漁獲成績報告書」が提出されない20トン未満の小型マグロ延縄漁船（以下19トン型船）のみ次の項目を調査した。

1) 船名、トン数、許可番号、今航海での第1回と最終回の操業年月日、操業回数、水揚げ年月日、出港港名、入港港名と年月日。

2) 主な漁場位置

以上の調査は委託により実施した。

また漁獲物の種類、体重組成の資料として「単価帳」を勝浦漁業協同組合より譲り受けた。

結 果

1989年4月～'90年3月に勝浦港に入港したマグロ延縄船は1387隻であり、うち19トン型船は1061隻であった。調査は19トン型船を対象に264隻実施し、結果を「マグロ漁業漁況調査票」に記入し「単価帳」とともに遠洋水産研究所に報告した。

※ 漁業資源調査事業費による。